

「普天間飛行場跡地利用パネル展」を開催しました



パネル展の様子

●普天間飛行場跡地利用に関連する最新情報を「普天間飛行場跡地利用パネル展」にて紹介しました

平成22年12月13日～24日、平成23年1月17日～28日にかけて、宜野湾市役所1階ロビーにて、普天間飛行場跡地利用に関連する「普天間飛行場跡地利用パネル展」を開催致しました。

◆主な展示内容

- ・普天間飛行場跡地利用に向けたこれまでの経緯
- ・「全体計画の中間取りまとめ(素案)」の紹介
- ・「NB ミーティング」、「若手の会」の活動紹介

パネル展につきましては、地権者や市民の皆様への情報提供手段の一つとして、今後とも普天間飛行場跡地利用に関連する大事な情報等を紹介致しますので、その際は是非ご覧下さい。

「NB ミーティング」が積極的に活動しています



市民懇談会での活動紹介



先進地視察会



自主会



若手の会との合同勉強会

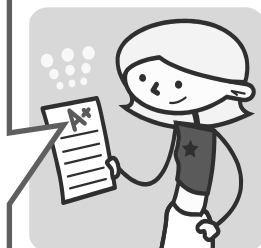
●“夢のあるまちづくり”をテーマに積極的な活動を行っています

市民のまちづくり検討組織「ねたてのまちベースミーティング(NB ミーティング)」は、普天間飛行場の跡地利用について、「宜野湾市のまちづくり」として“市民一人ひとりに関わること”であると考え、“夢のあるまちづくり”をテーマに活動しています。今年度は、毎月の定例会、地権者のまちづくり検討組織「若手の会」との合同勉強会や先進地視察会に加え、自主会開催や「市民懇談会」での活動紹介など積極的な活動を行っております。

次号では今年度の活動成果を掲載致します。ブログ (<http://net.at.e.seesaa.net/?1273733180>) もご覧下さい。

普天間飛行場跡地利用に関わる情報は、ホームページや情報提供窓口でも提供しています。情報収集や跡地利用に関わる要望・ご意見を述べる場としてお気軽にご活用下さい。

- 《ホームページ》 <http://www.city.ginowan.okinawa.jp/>
- 《情報提供窓口》 宜野湾市役所 基地政策部 基地跡地対策課
電話 098-893-4401(直通) FAX 098-892-7022
Eメール kiichi01@city.ginowan.okinawa.jp



本誌では、普天間飛行場跡地利用に係る最新情報をお伝えします

みんなで創るうねたてのまち 普天間飛行場跡地利用ニュース 14号

平成23年3月 宜野湾市基地政策部基地跡地対策課発行



平成23年1月29日に開催された「市民懇談会」の様子

跡地利用に向けた「市民懇談会」を開催しました

平成23年1月29日(土)に宜野湾市農協会館2階ホールにおいて、市民の皆さんを対象に普天間飛行場の跡地利用に向けた「市民懇談会」を開催しました。

◎「市民懇談会」開催概要

- 日時：平成23年1月29日(土) 15:00～17:00
- 場所：宜野湾市農協会館2階
- 内容：



- ⇒跡地利用の経過報告と「全体計画の中間とりまとめ(素案)」の説明
- ⇒夢のあるまちづくりについて「ねたてのまちベースミーティング」が活動紹介
- ⇒小グループに分かれての意見交換会

※皆様から頂いたご意見を本誌2面、3面でご紹介しておりますので、ご一読下さい

「市民懇談会」で頂いた皆様からのご意見を紹介します

●懇談会では「全体計画の中間とりまとめ(素案)」について、意見交換を行いました



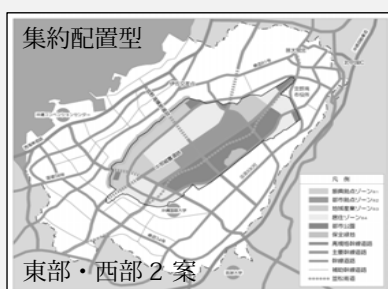
⇒「全体計画の中間とりまとめ(素案)」ってなに？

「全体計画の中間とりまとめ(素案)」は、宜野湾市と沖縄県が共同で、普天間飛行場跡地の土地利用構想としてとりまとめたものです。

⇒跡地の具体的な姿(まちづくり構想図)が描かれています

素案の中では、跡地のまちづくりの具体的な姿がわかる「たたき台」として、「まちづくり構想図」が作成されています。

「まちづくり構想図」は、(仮)普天間公園の形状に着目し、「一箇所にまとめて配置する案」(集約配置型)と「まとまりある区域と帯状公園によるネットワークを形成する案」(ネットワーク形成型)を作成しており、両案に基づき4種類の土地利用ゾーンと(仮)普天間公園の配置パターンを作成しています。



(左図面：まちづくり構想図)

●懇談会で頂いた「全体計画の中間とりまとめ(素案)」に対するご意見を紹介します



小グループでの意見交換(Aグループ)



小グループでの意見交換(Bグループ)



●(仮)普天間公園について

⇒大規模公園の規模よりも、まずは公園イメージや内容について十分議論することの方が重要であるという意見が多く出されている。

- ・機能をどこに配置するかという議論より、全体のイメージ(将来像)を固める議論をすべきではないか。
- ・公園としてのオープンスペースのあり方をまず議論すべきである。オープンスペースによってどのような価値を生み出すか。
- ・大規模公園を跡地のシンボルとするのは良いと思うがどのような公園なのかが重要。



●(仮)普天間公園について

⇒大規模公園に賛同し、つくり方等について様々な提案意見が出されている一方で、100ha規模の公園をつくることに疑問を感じている意見も多く出されている。

- ・公園は地価上昇や環境の改善等メリットはあるが、100haの大規模公園を確保して雇用創出できるのか。雇用を活かせる公園のあり方を考えていく必要がある。
- ・宅地の中で使いやすい小さい公園があれば良い(100haでは使いづらい)。
- ・跡地だけで完結する公園ではなく、他の公園(洞穴のある)とつなげるのも良いのでは(文化財のネットワーク化)。
- ・市街地とのつながり(跡地)がある中で極端な土地活用(集約しているもの)はさけてほしい。周辺市街地を考慮して計画を作ってほしい。
- ・大規模な公園を作る上で、内容(規模、イメージ)も重要だが、予算等の問題もある中で、市民に作る意義を明確に示してほしい。
- ・100ha以上という大規模な公園を作る場合、様々な問題(軍用地料)を含んでいるため実現は困難なのではないか。



●都市拠点について

⇒公共施設等の場所や機能について、市民の使い勝手や長期的な視点での意見が出される。

- ・都市拠点(市役所等の公共施設)が真中にあれば使い勝手もよく良いのではないか。
- ・昔は宜野湾市に公共施設が集約されていた(⇒県庁を跡地に移転させる)。
- ・長期的な賑いを考えた場合、商業施設を誘地させるよりは、国の行政機関を配置させたほうが特徴的。
- ・都市拠点については、周辺の開発や時代の流れに左右されない開発をすべき。
- ・跡地内に文化施設が欲しい(展示する場所、情報を発信する場所がない)。
- ・跡地利用を契機に雇用の創出につなげることも重要。



●鉄軌道について

⇒車社会を踏まえた鉄軌道の必要性和工夫について意見が出される。

- ・鉄軌道があったほうがよいと思うが、駅迄のアクセスが問題。バス等の運行が方法として考えられる。
- ・沖縄の人は車に慣れてしまっているが、子供達の世代に作れば電車のある生活に慣れ、車利用も減るのではないか。



●今後の市民の意識醸成活動の進め方について

⇒様々な要因から、市民の関心が低下してきている中で、今後の市民の意識醸成活動の進め方についての提案が出されている。

- ・いつ返還させるか分からないから、関心がなくなってきている。
- ・専門的な新たな情報が提示されれば、関心を示すのではないか。
- ・市民の関心が低いという現実を受けとめ、やり方を考えるべき。